

長期計画における現状と将来

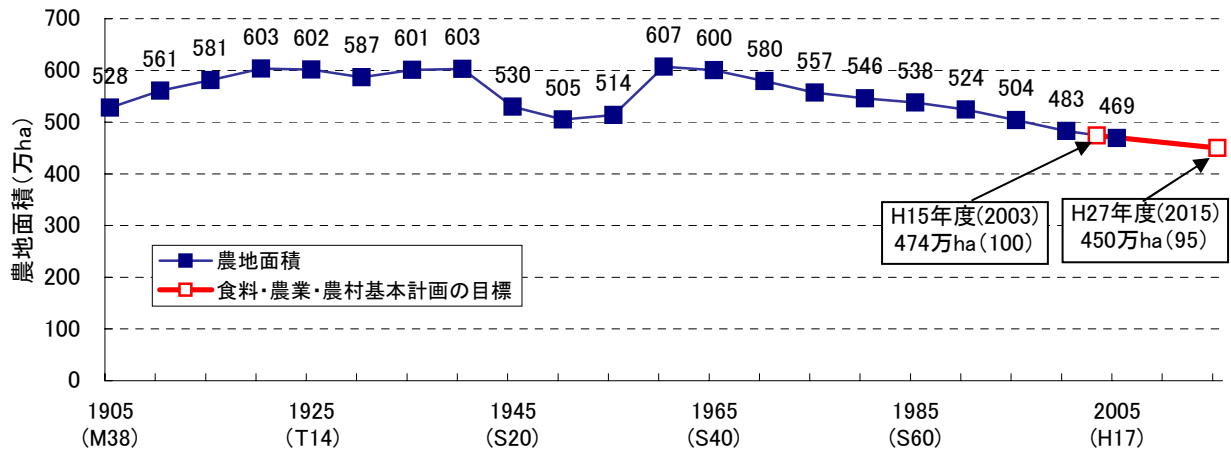
資料 2 - 2

国土・一次産業等に関する国の長期計画等における見通し等（国土・環境部分抜粋）

計画	目標年次	現状認識・将来見通し	基本方針等
21世紀の国土のグランドデザイン (H10.3)	～H22-27	<ul style="list-style-type: none"> ○国民意識の転換:物の豊かさより心の豊かさ、自然志向の高まり 等 ○グローバル化:温暖化、食料・資源の供給制約 等 ○人口減少・高齢化:本格的な人口減少、高齢化の進行、都市的土地利用の転換圧力の低下 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の自立促進、自然や文化を重視した地域 ○人口減少・高齢化・安心の確保 ○豊かな自然を持続可能な形で享受しつつ将来に継承
国土審議会計画部会中間とりまとめ (H18.11)	—	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少・高齢化:本格的な人口減少社会、2020年までに首都圏以外では人口減少 等 ○安全・安心、環境、文化などへの意識の高まり ○ライフスタイルの多様化、NPO・企業などの「公」的役割の成長 ○一極一軸型国土構造の継続と是正、東京圏の輸入超過の継続・地域間の格差の動向 ○人口減少を踏まえた人と国土のあり方の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化や人口減少に対応する国土の形成 ・持続可能な地域の形成:各地域の活力と個性の維持 等 ○安全で美しい国土の再構築と継承 ・美しい国土の管理と継承:循環と共生を重視した国土管理、食料・森林資源等について自給能力向上 等
第3次国土利用計画 (H8.2)	～H17	<ul style="list-style-type: none"> ○人口増勢の鈍化、都市化の減速 →地目間の土地利用転換圧力の低下、都市化の進展が継続 等 ○農山漁村で国土資源の管理水準低下、地球環境問題の顕在化、国民の価値観の高度化・多様化 →国土の安全性への要請、持続的な利用の要請、心の豊かさや自然とのふれあいへの志向 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○土地需要の量的調整:都市的土地利用の合理化・効率化、農林業を含む自然的土地利用の適正な保全と利用、土地利用転換の慎重・計画的扱い 等 ○国土利用の質的向上:森林の国土保全機能向上、自然の保全・創出とネットワーク化、ゆとりある都市環境、緑資源の確保、個性ある景観形成 等
今後の国土利用の在り方に関する検討状況 (H17.4)	—	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎条件の変化:人口動向が増加から減少へ変化、地球温暖化や食料・林産物の安定供給の必要性 等 ○国土利用の主要課題:国土の管理水準の低下、都市的土地利用の外延化・中心市街地の衰退、市街地縮小や人口密度低下による活力低下、自然環境・国土の美しさの減少 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○国土の選択的管理・国民的経営。 ○都市的土地利用の整序・集約化、跡地を活用した自然環境の再生・活用 ○水と緑をネットワークとして整備・保全
食料・農業・農村基本計画 (H17.3)	～H27	<ul style="list-style-type: none"> ○農業構造改革の立ち遅れ:農業就業人口の減少・高齢化、小規模な農業経営 等 ○多面的機能や農村への期待:過疎化による農村での生産活動の停滞・後退、農地等の管理低下 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○農業生産のあり方を環境保全に貢献する営みに転換 ○地産地消、技術革新などを踏まえた「攻めの農政」の展開
森林・林業基本計画 (H18.9)	～H27	<ul style="list-style-type: none"> ○利用可能な資源の充実:森林の適正な整備がなされない状況、高齢級の人工林が急増など ○森林に対する国民ニーズの多様化:京都議定書の目標達成、山地災害・洪水渇水の発生、シカ等の被害深刻化、生物多様性や景観の保全 等 ○木材の需要構造の変化など:品質・性能の明確な製品のニーズ拡大、国産材の利用拡大の兆し 等 ○林業・木材産業の構造改革の立ち遅れ:小規模零細な事業規模、林業就業者の減少・高齢化 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全への貢献:生態系として健全な維持、適切な施策等を通じ森林の多面的機能を発揮、二酸化炭素の吸収源・生物多様性保全の場としての森林の役割、違法伐採対策など ○技術革新などを踏まえた「攻めの林政」の展開
水産基本計画 (H14.3)	～H24	<ul style="list-style-type: none"> ○水産物の供給のほかレクリエーションの場の提供などの漁村・水産業の役割が見直される ○漁業生産量の減少、水産物自給率の低下 ○漁業従事者の減少と高齢化 ○各地域に水産に関する技術・知見の蓄積、沿岸における漁村という地域社会の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○水産物の安定供給の確保:国連海洋法条約の的確な実施、増殖・養殖の推進、生育環境の保全 等 ○水産業の健全な発展:資源に見合った操業、水産業の構造改革、基盤整備、漁村の多面的機能の発揮 等

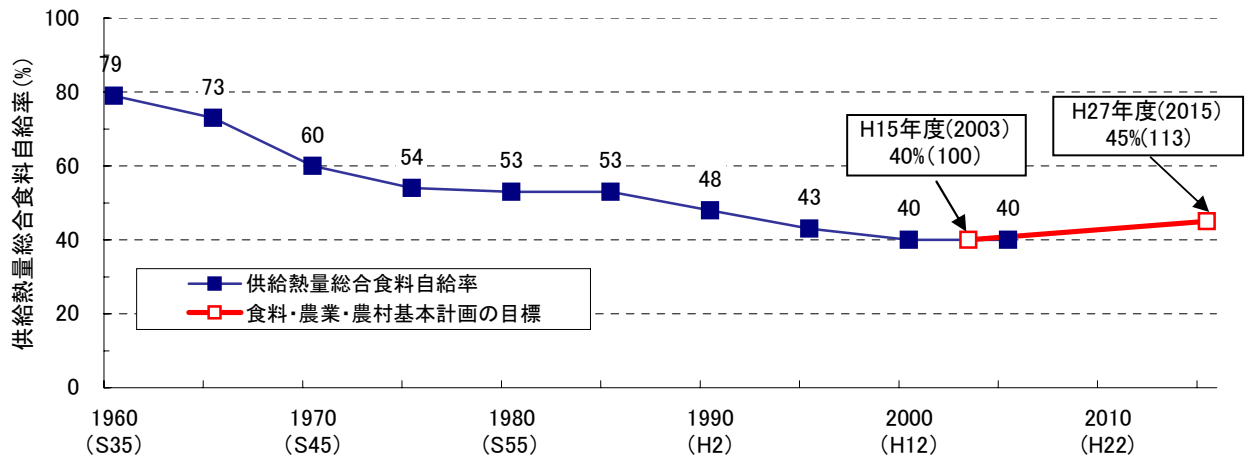
国の長期計画における数値目標

■農地面積(食料・農業・農村基本計画)



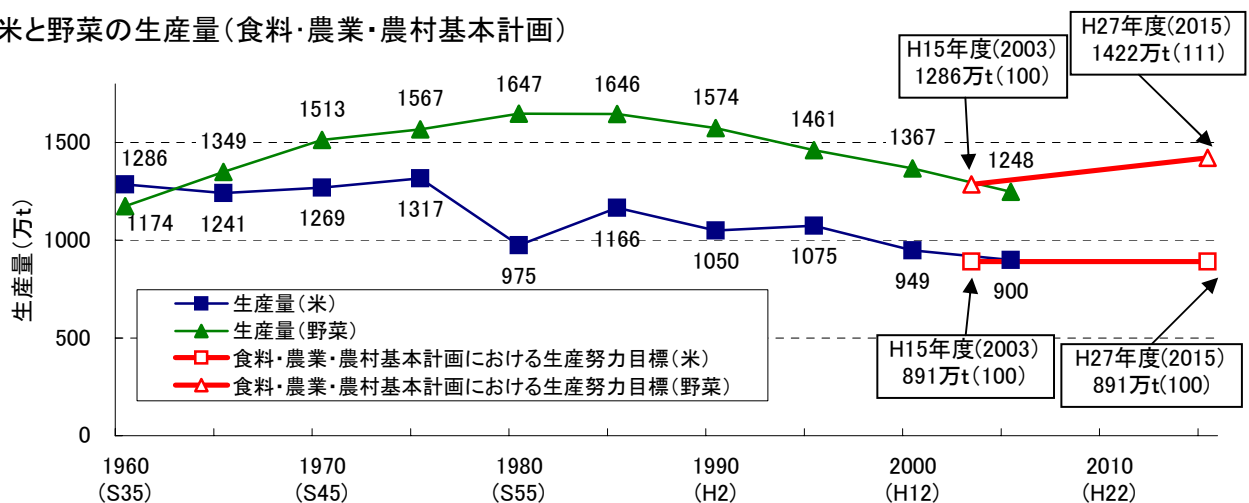
データ出典: 農林水産省, 耕地及び作付面積統計

■食料自給率(食料・農業・農村基本計画)



データ出典: 農林水産省, 食料需給表

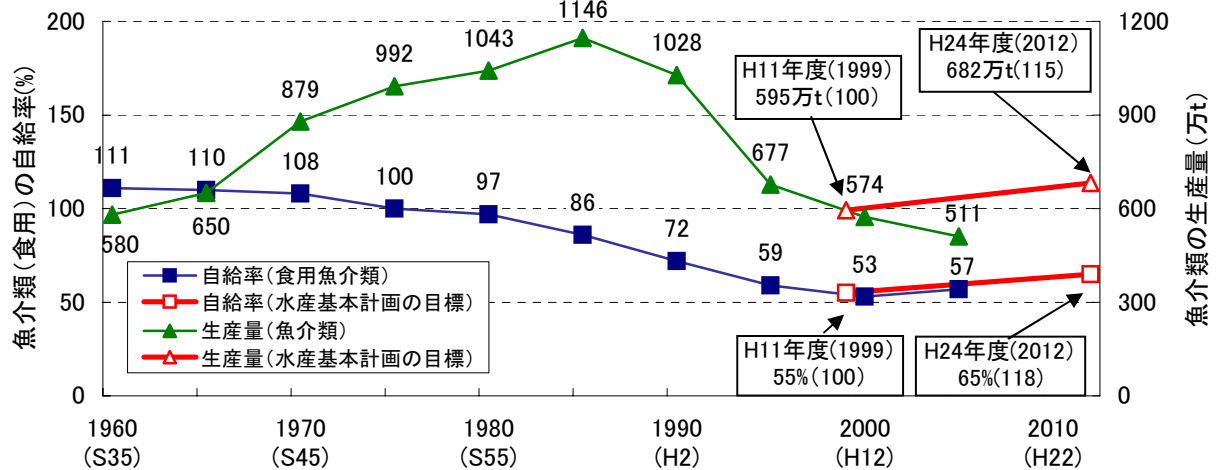
■米と野菜の生産量(食料・農業・農村基本計画)



データ出典: 農林水産省, 食料需給表

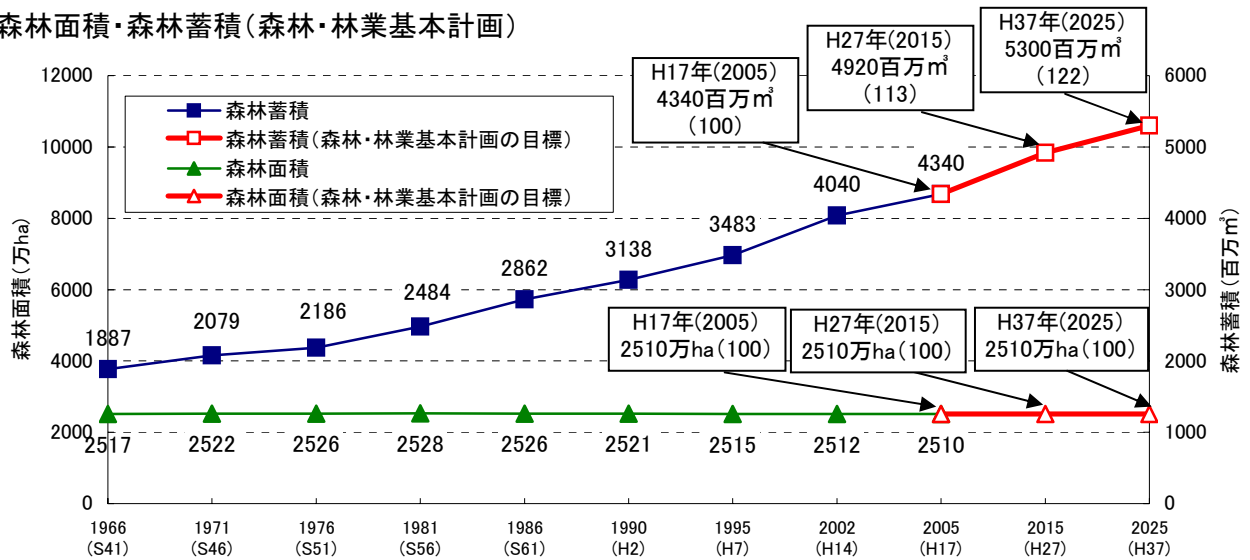
注: 米・野菜ともに、生産量実績と、基本計画における生産努力目標とは異なるデータを用いているため、単純に比較できない。

■魚介類生産量・食用魚介類自給率(水産基本計画)



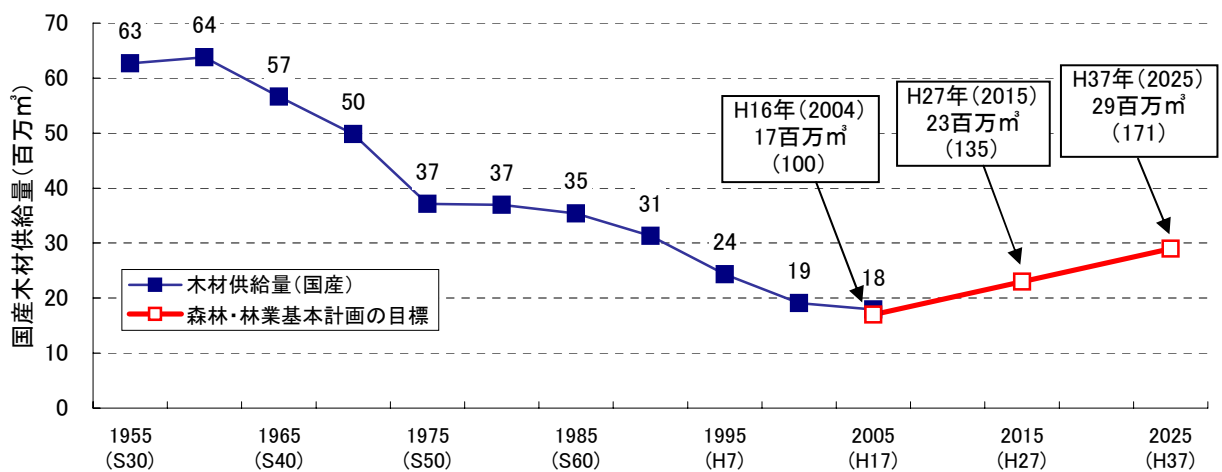
データ出典: 農林水産省, 食料需給表

■森林面積・森林蓄積(森林・林業基本計画)



データ出典: 林野庁, 森林資源現況調査結果など

■木材供給(森林・林業基本計画)



データ出典: 林野庁, 木材需給表